

第9章 資料編

P.160 <令和6年度>久喜市児童福祉審議会委員名簿の次へ追加します。

4 こども・若者意見聴取の概要

本計画の策定にあたり、こども基本法第11条に基づき、こども・若者の意見聴取として、「こども・若者の意識と生活に関する調査」の他、「若い世代と市長との座談会」やこども・若者が集まるイベント会場でのアンケートを実施しました。

(1)こども・若者の意識と生活に関する調査

無作為に抽出した15歳～39歳の市民2,000人を対象に、これまでの体験、経験を通じた社会生活に対する意識や日々の生活を通じて思うこと、市へ望むこと等について、アンケートを行った他、自由意見を募ったところ、主な意見として、次のとおりとなりました。

(自由意見:回答686件のうち、81件)

分野	主な意見
金銭面に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○物価高だが、給料が上がらない。 ○一生懸命働いても、その分税金ばかり取られて嫌になる。 ○夫婦共に正規職員として働いていて子どもが一人のみだが、金銭的に余裕があるとは言えない。 ○贅沢はしておらず自分の服などは購入を見送ることもあり、物価の高さを感じる。 ○社会人になったばかりのため、金銭的問題がある。
子育て、仕事と育児 の両立に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○仕事と育児の両立が大変である。忙しい。 ○家事、育児を一人でやっている。協力してくれない。 ○育児ばかりで家事も手につかず、自分の時間もとれない。息抜きが上手くできない。 ○育児で近所の買い物に行くのも困難を感じる。 ○金銭的不安がなく、子どもがいても働きやすい環境があれば、2人目、3人目がほしい。 ○子どもが大きくなると子育てについて気軽に相談できる場所が少ない。
職場や就職に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○今年の4月から社会人になったが毎日大変で行きたくない日がある。 ○面接でいつも落ちる。 ○人を見た目で判断しすぎる。 ○どこの職場にもパワハラ人間がいる。 ○現在精神疾患があり、正社員として就職できていないことが悩みである。
施設や交通機関 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○他愛のない雑談ができるスペースやカフェのような場所で、些細なことから行政サービス等を紹介してくれるような相談員がいるサービスがあるとよい。 ○子どもたちが遊ぶ場所、若者の遊ぶ場所、交通機関は栗橋地域のバスを茨城県境町のようにしてほしい。 ○学校にもう少しお金をかけてあげてほしい。
人間関係に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○人とのコミュニケーションが苦手である。 ○改善しようにも、付き合いのある人がいない。 ○人間関係を億劫に感じてしまう時期が定期的であり、よい関係を長く保てない。 ○隣人が何に興味をもっているのか全くわからない。接点がない。

(2)若い世代と市長との座談会

将来を担う若い世代の市民参加の促進を図るとともに、若い世代の意見を市政に反映することを目的に、市内在住の大学生の皆さん8名が参加し、令和6年12月14日(土)に開催しました。

座談会では、「こどもや若者が元気で安心して暮らせるまちにするために」をテーマに、本計画の策定にあたり、久喜市にあるといいものについて意見をいただいた他、市の魅力再発見や、ふるさと納税を活用した市の特産品の検討等をテーマに、市長と意見交換しました。

分野	主な意見
遊び場や居場所	○駅付近に高校生・大学生・社会人が勉強やリモートワークのできる自習カフェのような場所があると駅設備の充実になる。 ○子育て支援の一つの対策として、こども達が一緒にゲームやスポーツができ、夜ご飯が食べられない場合は一緒に食事をとれ、ママ友・パパ友といった家庭の繋がりが作れるような屋内施設があるとよい。 ○小中学校の周辺にこども達が気軽に集まれる公園があるとよい。
安心して安全に暮らせる方法	○暗い道路や細い道に、自動車と自転車がお互い認識できるように街灯があるとよい。 ○公共施設等のカスタマーハラスメント対策として、本名を用いない名札を使用する取り組みがあるとよい。
困り・悩みを相談できる場所	○他自治体の例のように、保護犬カフェで犬の保護をしつつ、自立に向けた支援として、こどもや若者を受け入れて、こどもや若者が働くことを通じて社会で活動できる支援の場所があるとよい。 ○高齢者施設と幼稚園がひとつになって、こども達が高齢者と一緒に過ごすなかで、知恵や意見を授かる場となる施設があると素敵だと思う。

(3)アンケート

こどもや若者が集まる本市イベントの「健幸スポーツフェスタ KUKI・第17回おひさまマルシェ」が令和6年12月22日(日)に毎日興行アリーナ久喜で開催され、会場内において、本市へ望むこと、こどもや若者の意見聴取への認知や意欲等について、来場したこどもや若者、子育て世代の皆さんを対象にアンケート調査を行いました。

問1 性別・年代(学齢)

全体	男	女	わからない
54人	16人	38人	0人
100.0%	29.6%	70.4%	0.0%

全体	小学生以下	中学生	高校生以上
54人	12人	4人	38人
100.0%	22.2%	7.4%	70.4%

問2 久喜市が好きですか。(1つに○)

全体	はい	いいえ
54人	51人	3人
100.0%	94.4%	5.6%

問3 久喜市に住んで、「こんな久喜市になったらいいな・あるといいな」と思うことがありますか。
(1つに○)

全体	ある	ない	わからない
54人	42人	3人	9人
100.0%	77.8%	5.6%	16.7%

問4 問3で「ある」を回答した方に聞きます。それはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

全体	色々なことを学び・体験できる場所	安心して過ごせる遊び場や居場所	心や体が元気になる場所	家庭や子育てと仕事で両立できる職場	生活に困ったとき助けとなるサービス	犯罪や災害に強いまちづくり	その他
42人	34人	33人	19人	17人	16人	19人	3人
100.0%	81.0%	78.6%	45.2%	40.5%	38.1%	45.2%	7.1%

問5 地域のことやまちづくりについて、子どもや若者の意見を聞く機会があれば、参加してみたいと思いますか。(1つに○)

全体	はい	いいえ
54人	36人	18人
100.0%	66.7%	33.3%

問6 子どもや若者のみなさんが自分の意見(思い)を言いやすい環境をつくりたいと考えています。どんな方法や場所があれば伝えやすいですか。
(あてはまるものすべてに○)

全体	意見のある子ども・若者を集めて会を開く	市役所の会議などに子ども・若者が参加する	市役所、公園や図書館など普段利用する場所に意見箱を設置する	SNSやメール、市ホームページを活用して伝える	その他	特にないわからない
54人	14人	13人	21人	42人	3人	0人
100.0%	25.9%	24.1%	38.9%	77.8%	5.6%	0.0%

問7 あなたは、すべての子どもに自分の考えや思いを自由に伝えることができること(意見を表明する権利)を知っていますか。
(1つに○)

全体	知っている	聞いたことがあるが、内容はよくわからない	知らない
54人	24人	9人	21人
100.0%	44.4%	16.7%	38.9%